

スピリチュアル物語

183話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

- Skypeセッション 1時間\$80 / 90分\$115
- メール相談 簡易コース\$15 / 通常コース\$40



「成程：スピリチュアルは目には見えない世界だけに、スピリチュアリストかそうでないかの基準が明確でなかったり、職業的な分類もスピリチュアルに含まれるのかどうかの線引きが難しいんですね。」マジョリアルが同意すると、「でも、国が認めるスピリチュアル系の資格や任意団体等が独自に定める認定制度にパスした人は、一応はスピリチュアリストってことでもいいんじゃない？」とウィザットが口を挟む。それを受けてマグワートはこう言った。「確かにそれらは一つの目安にはなっているとは思う。しかし

ながら、その基準は飽く迄も人間が定めたものじゃ。資格を持っているから、認定制度にパスしたから、という視点も勿論あるとは思いつし、それらの取得の為に真摯に頑張った人の努力が無駄とは言わないが、それよりもその人が純粋に宇宙との繋がりを自覚していることのほうが重要であり、人間が作った資格や認定は宇宙の前では意味を成さないこともある。時折、それらに強く拘るケースがあるが、宇宙との真の絆を持つておらず、表面だけの資格や認定に胡坐をかいたり、それらを光ではない方向で使うので

あれば、本末転倒にもなり兼ねない。また、例として：スピリチュアル活動の一つである占いやチャネリングは勿論素晴らしい指針の一つではあるけれど、当たる当たらないにのみフォーカスし、当たらなければ無意味だと切り捨てるスタンスも真のスピリチュアルとは言えない。占いやチャネリングを通して宇宙が伝えたいことは、本来当たる当たらないのみではなく、もっと深いものなんじゃ」



★これまでのお話(1~182話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 3月31日号につづく